

# 平成 2 1 年度事業計画及び収支予算書

財団法人群馬県馬事公苑

## 平成 21 年度財団法人群馬県馬事公苑事業計画及び収支予算について

### 1 . 事業計画

平成 20 年度の乗馬利用状況は、積極的な集客対策、快適、安全に乗馬を楽しんでいただくためのサービスの提供や様々な改善策を講じてきたことにより順調に増加傾向で推移してきました。しかし、秋以降、金融危機を発端とした世界的な景気の悪化により、今年に入ると前年を下回るなどその影響が利用状況にも徐々に現れてきているのかと思われます。

その結果、平成 21 年 2 月末現在の収入実績は、主要事業である通常乗馬等の利用料金収入が対前年比 6.9% の増加、企画事業収入は公苑大会を予定どおり 4 回開催(前年度は馬インフルエンザまん延防止のため 1 回中止) できたことで対前年比 4.6% の増加となり、事業全体の収入では対前年比 6.5% の増加となっております。

平成 21 年度は、指定管理者として 18 年度からの第 1 期に引き続き、3 年間の指定を受けた年であり、これまでの事業実績をさらに充実、発展させた施策を実施していくことにより、景気の変動等に左右されない経営収支の安定化と効率的な管理運営に努めます。

また、昨年 12 月 1 日より、公益法人制度改革法が施行され、当財団も今後 5 年間の移行期間(平成 25 年 11 月末まで)に新制度における法人へ移行する必要性があり、新たな法律に基づく定款の作成や運営方法の見直しなど移行に向けた準備を進めていくことといたします。一方、群馬県では厳しい財政状況を反映して、公の施設のあり方について見直しなどの検討がなされているようであります。

このような状況下の中、改めて馬事公苑施設における乗馬サービスの提供は県民に広く公平に開かれた公益目的事業であることを積極的にアピールしていくことが益々重要となってきておりますので、一層の新規利用者の誘致と定着化を図り県内乗馬人口の底辺拡大に努めてまいります。

#### ( 1 ) 委託管理事業

「群馬県馬事公苑の管理及び運営に関する基本協定書」及び「群馬県馬事公苑管理及び運営に関する年度協定書」に基づき、群馬県馬事公苑の設置および管理に関する条例に従い、馬事公苑を管理し、県民の動物愛護心を涵養するとともに、馬に関する知識の普及と理解の促進、乗馬技術の向上に努める。

## ア．委託事業の実施

通常乗馬（高校生以下の乗馬利用料金は減額）と引き馬乗馬等のサービスを提供し、利用料金収入の増収を図る。

## イ．施設の維持管理

来苑者が安全かつ快適に利用できるように、馬の良好な飼養管理と乗馬環境の適正な維持管理に努める。

## （２）主な事業内容

### ア．乗馬の普及・啓発事業

乗馬を始めるきっかけや楽しさを提供するため、インストラクターが基礎・基本がわかりやすい指導を行うとともに、利用者が満足感を得られるサービスを実施し、乗馬人口の定着化と拡大を図る。

#### （ア）大人のための短期乗馬教室

18歳以上の一般県民を対象にした乗馬教室の受講料金を減額し、広く利用機会を提供することにより、潜在的乗馬愛好者の掘り起こしを図る。

#### （イ）ステップアップ特別乗馬教室（新規）

短期乗馬教室修了者を対象にしたステップアップ特別乗馬の実施により、継続利用によるリピーターの確保を図る。

#### （ウ）平日無料体験乗馬会

初心者を対象に乗馬を身近なものとして体験してもらう。

#### （エ）現代の多様な生活スタイルに合わせた体験乗馬会

初心者を対象に昼間及びナイターの乗馬を手頃で体験できる機会を提供する。

#### （オ）障害者の乗馬利用に対し、利用料金を減免する。

#### （カ）積極的なPR

「馬に乗ってみたい」という潜在的乗馬愛好者に対して、広く馬事公苑の存在をアピールするため、積極的にセールス活動を展開するとともにイベント開催等の広告宣伝を行う。

### イ．青少年の健全育成事業

次世代を担う子どもたちに動物とのふれあいの場の提供と動物愛護の精神を養うとともに乗馬技術の向上を図る。

#### （ア）春・夏・冬休み、秋、こどもの日体験乗馬教室に対し、利用料金を減免す

る。

小学3年生～高校生までを対象に開催

(イ) 親子の体験乗馬教室(年3回)

こども乗馬教室の開催前に初心者親子を対象に乗馬を始めるきっかけの場を提供し、楽しさ、家族の理解を深めてもらう。

(ウ) 乗馬少年団の活動

県内在住の小学5年生から高校生を対象に乗馬訓練を通して、青少年の育成に寄与する。

ウ. 馬術競技の振興と競技技術の向上

施設を有効的に活用し、馬術競技の振興と競技技術の向上を図る。

(ア) 公苑乗馬大会の開催

乗馬技術の向上と利用者間の親睦を目的にした乗馬大会を1回増加して、5回開催する。

(イ) 日本馬術連盟認定B・C級騎乗者資格技能審査会の開催

馬事知識および乗馬技術向上のため、県馬術連盟の協力を得て実施する。

エ. 福祉、教育機関との連携協力

乗馬を通じた青少年の育成、動物とのふれあいなどの教育活動に協力する。

(ア) 各地の学校、育成団体及び保育園等による乗馬体験、引き馬乗馬体験

(イ) 福祉施設や教育機関等が行う障害児・不登校児・自閉症児の乗馬体験活動  
には、ほぼマンツーマン形式の指導による協力

(ウ) 高校生以下の団体の乗馬利用に対し、利用料金を減免する。

(3) 事業協力

ア. 群馬県馬術連盟主催馬術大会

イ. 第64回国民体育大会関東ブロック大会

ウ. 第64回国民体育大会

エ. 県民の日無料体験乗馬

オ. 第20回酪農畜産フェスティバル

カ. 国立大学対抗馬術大会

キ. 教育・福祉施設等への協力

ク. 地元富士見村との協調、協力体制

ケ. その他各種行事、取材等への協力

コ. 周辺施設との協力体制

平成21年度 群馬県馬事公苑事業計画

月	実施事業	協力事業
4	乗馬少年団入団式 春休み体験乗馬教室 短期乗馬教室(4月期) B・C級騎乗者資格技能審査会	春季県馬術大会
5	ナイター乗馬開始(～10月) こどもの日体験乗馬教室 平日無料体験乗馬会 昼間体験乗馬2回コース 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬(新規)	関東ブロックミニ二国体選手選考県馬術大会
6	第1回公苑乗馬大会 短期乗馬教室(6月期) ナイター体験乗馬2回コース	夏季県馬術大会 伊勢崎市教育研究所体験活動
7	親子乗馬教室 夏休み体験乗馬教室 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬	
8	第2回公苑乗馬(ナイター)大会 夏休み体験乗馬教室 短期乗馬教室(8月期)	
9	第3回公苑乗馬大会 平日無料体験乗馬会 富士見村限定体験乗馬 昼間体験乗馬2回コース ナイター体験乗馬2回コース 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬	伊勢崎市教育研究所体験活動
10	親子乗馬教室 短期乗馬教室(10月期)	酪農畜産フェスティバル体験乗馬 館林児童センター乗馬体験活動 赤城山麓いこいの里祭り体験乗馬
11	第4回公苑乗馬大会 秋のチャレンジ乗馬教室 親子乗馬教室 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬	秋季県馬術大会
12	冬休み体験乗馬教室 短期乗馬教室(12月期) 【年末営業】	国立大学対抗馬術大会
1	初乗り会 冬休み体験乗馬教室 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬 【年始営業】	
2	第5回公苑乗馬大会 短期乗馬教室(2月期) 昼間体験乗馬2回コース	
3	親子乗馬教室 春休み体験乗馬教室 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬 乗馬少年団終了式	早春県馬術大会

## 収支予算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増 減	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入	2,831	2,972	141	
基本財産利息収入	2,831	2,972	141	
基本財産運用収入	0	0	0	
特定資産運用収入	112	84	28	
特定資産利息収入	112	84	28	
事業収入	44,903	44,308	595	
利用料金収入	37,822	38,377	555	
企画事業収入	7,081	5,931	1,150	
乗馬教室収入	2,707	1,969	738	
乗馬大会収入	2,900	2,640	260	
馬術技能審査会収入	241	260	19	
少年団収入	1,200	970	230	
その他収入	33	92	59	
受託料等収入	39,790	42,500	2,710	
管理受託収入	39,790	42,500	2,710	
雑収入	782	1,909	1,127	
受取利息収入	51	29	22	
雑収入	731	1,880	1,149	
事業活動収入計	88,418	91,773	3,355	
2 事業活動支出				
事業費支出	55,767	54,376	1,391	
給料手当支出	24,260	26,684	2,424	職員1名減
臨時雇賃金支出	8,725	5,754	2,971	臨時職員1名増
退職手当支出	0	200	200	
福利厚生費支出	4,534	4,364	170	臨時職員分増
旅費支出	86	45	41	
報償費支出	330	280	50	
需用費支出	4,115	3,968	147	
食糧費支出	242	222	20	
消耗品費支出	499	501	2	
燃料費支出	300	315	15	
印刷製本費支出	50	20	30	
光熱水費支出	2,124	1,960	164	
修繕費支出	850	900	50	
原材料費支出	50	50	0	

(単位：千円)

科目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増減	備考
役務費支出	2,095	1,850	245	
通信運搬費支出	270	231	39	
宣伝広告費支出	741	541	200	
手数料支出	37	32	5	
保険料支出	1,047	1,046	1	
飼育費支出	10,015	9,787	228	
飼料費支出	5,524	5,446	78	
敷料費支出	1,497	1,137	360	才力単価UP
装蹄費支出	2,064	2,064	0	
衛生費支出	630	730	100	
飼育消耗備品費支出	300	410	110	
馬場整備費支出	300	0	300	
馬購入支出	300	300	0	
使用料及び賃借料支出	373	356	17	
消耗什器備品費支出	604	758	154	
負担金支出	30	30	0	
管理費支出	30,363	32,604	2,241	
役員報酬支出	7,102	7,102	0	
給料手当支出	13,214	13,075	139	
福利厚生費支出	2,852	2,807	45	
旅費支出	193	163	30	
需用費支出	1,043	2,030	987	
食糧費支出	20	20	0	
消耗品費支出	197	367	170	
燃料費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	15	15	0	
光熱水費支出	406	578	172	
修繕費支出	405	1,050	645	
役務費支出	146	196	50	
通信運搬費支出	48	88	40	
手数料支出	98	108	10	
委託費支出	2,353	1,804	549	
使用料及び賃借料支出	103	190	87	
消耗什器備品費支出	200	630	430	
負担金支出	41	39	2	
租税公課支出	3,116	4,568	1,452	消費税、法人税等
事業活動支出計	86,130	86,980	850	
事業活動収支差額	2,288	4,793	2,505	

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増 減	備 考
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給付引当預金取崩収入	0	200	200	
賞与引当預金取崩収入	2,907	3,049	142	H20年度の取崩
投資活動収入計	2,907	3,249	342	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当預金支出	2,242	4,135	1,893	当期要積立額
賞与引当預金支出	2,953	2,907	46	12月～3月(4ヶ月)
投資活動支出計	5,195	7,042	1,847	
投資活動収支差額	2,288	3,793	1,505	
財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
短期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
短期借入金返済支出		0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
予備費支出	0		0	
当期収支差額	0	1,000	1,000	
前期繰越収支差額	13,470	12,470	1,000	
次期繰越収支差額	13,470	13,470	0	

(注) 1 借入金限度額 0円

2 債務負担額 0円